

その熱気を浴びた。土崎港曳山まつりに始まり、秋田竿燈まつり、大曲の花火といった全国的に有名な祭りやイベントに加え、各地の味わいのある祭りまで。残念ながら7月の記録的大雨により綴子神社例大祭の大太鼓の出陣行列などは中止となつたが、来年はぜひ拝見したい。いずれも心動かされるものがあり、今なお心地よい余韻が続いている。文化や技術の伝承を含め、運営に尽力された方々に感謝をお伝えしたい。

# 秋田の風

田銀秋田支店長コラム

## 観光資源としての祭り



も、秋田の祭りは多様性に加え地域の独自性が色濃く残つてゐるよう映つた。本来、多くの祭りは五穀豊穣などを願う神事であり、観光資源として捉えるのは筋違いのように思う。しかし、秋田において、祭りは既に県外や海外の方々を引きつける強力なコンテンツとなつている。この夏も多くの観光客が集まり、若い世代の姿も目立

ラス効果をもたらしたこと考えら  
れる。

ラス効果をもたらしたと考へられる。

秋田の祭りを観光資源としてあらためてみたとき、県外や海外の観光客にとって、アクセス面のハードルの高さが最大の課題になるだろう。特に地方の祭りでは会場近くに宿を取るのは至難の業であり、秋田市内に宿を取つたとしても会場までの移動手段と時間が問題だ。レンタ

までのシャトルバスの運行なども考えられるだろう。バスの場合、会場近くまでの優先アクセスがポイントになる。利便性を高められれば県内観光客も利用し、自家用車の減少による渋滞緩和や地域の環境保全にもつながる。

り観光のハブ機能を近隣他県が担うような状況にはならないようしたい。

秋田は、国指定重要無形民俗文化財の数が全国で最も多い県であり、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産となつている祭りや行事も七つある。こうした文化的財産を地域社会の中で持続していくためにも、経済的恩恵は県内でしつか

## アクセス向上の工夫を

は会場から遠く離れていても高水準の予約が続き、県経済にとって個人消費を中心に大きなア

カーレは自由がきくが渋滞と駐車場に悩まされ、お酒が飲めないため地元は飲食需要を取りこぼすことになる。アクセスしづらいのが魅力と主張してもよいが、お客様まである観光客の目線で、何か工夫できることはな

ているところもある。これに倣い、秋田市をハブに祭り期間に限らず四季折々の現地ツアーを用意し、秋田観光の新たなツーリズムとして打ち出すことも考えられる。

カーレは自由がきくが渋滞と駐車場に悩まされ、お酒が飲めないため地元は飲食需要を取りこぼすことになる。アクセスしづらいのが魅力と主張してもよいが、お客様である観光客の目線で、何か工夫できることはないだろうか。

ているところもある。これに倣い、秋田市をハブに祭り期間に限らず四季折々の現地ツアーを用意し、秋田観光の新たなツーリズムとして打ち出すことも考えられる。

また、秋田の祭りについて、アクセス面を含めて一元的に情報の収集や手配ができるウェブサイトがあれば観光客は助かるだろう。少なくとも、秋田の祭

な観光資源としての課題を再確認し、観光客の目線に立った工夫を重ね、需要を一層取り込んでいくことが期待される。秋から冬にかけても県内各地で魅力的な祭りやイベントが開催される。筆者も精力的に出かけたい。

り観光のハブ機能を近隣他県が  
担うような状況にはならないよ  
うにしたい。

日本銀行秋田支  
△隨時掲載△